

東日本大震災より 10 年を迎えて

前 宮城県キンボールスポーツ連盟 会長 今泉 良正

3月11日、東日本大震災より10年の時が経ちました。あの日、今まで経験したことのない揺れの後、押し寄せた津波のため、周りの世界が一変し、まるで映画の荒廃した近未来の世界に迷い込んだようで呆然としたことを覚えています。

第10回の記念大会である宮城オープンが3月6日に終了したばかりで、大会用具一式が積まれた車が津波に飲み込まれていくのを見ていることしかできなかったこと、県職員として合同庁舎に避難してきた人の対応をしながら、限られたお菓子を分けって過ごしたこと、水が引かない中、自衛隊のボードで救出されたこと等、あらためて思い出されます。当たり前に見える日常の大切さを思い知るにはあまりにも大きすぎる代償でした。先の見えない状況の中で気持ちを奮い立たせてくれたのが、たまにつながる携帯が受信するキンボールスポーツ関係者のメールでした。夜になると、なんとか連絡を取ろうとする多くの人の携帯の明かりが何とも印象的でした。すすり泣く声も聞こえる中、メールの一文字一文字を食い入るように読んでいました。激励の言葉一文字一文字が心にしみました。こんなに元気づけられたことは今までありませんでした。しばらくたつと、キンボールスポーツグッズや支援物資が送られてきました。メッセージで埋め尽くされたボールもありました。キンボールスポーツを続けてきて本当に良かったと思える事でした。いろいろな人が助けてくれる、応援してくれると思うと、前を向いて頑張る勇気をもらうことができました。

その後、普段は使えない大学の付属学校の体育館を借用して練習を再開し、2012年には子供たちを中心としたクラブ「MKSC2012」（宮城キンボールスポーツクラブ2012）を立ち上げ、第11回宮城オープンも開催することができました。2018年には全国に感謝の気持ちを伝えるべくジャパンオープンフレンドリーカップを開催できました。

これもひとえに全国のキンボールスポーツ関係者皆様のご支援と応援のおかげです。震災後10年を迎え、あらためて深く感謝申し上げます。ありがとうございます。新たなステージに向かって今後も頑張っていきたいと思えます。